

<社会>

プミポン国王崩御

プミポン国王が 10 月 13 日（木）、入院先のシリラート病院で崩御されました。今年 6 月には世界の君主の中で最長となる在位 70 年を迎え、「国父」と慕われてきた国王の死に国中が悲しみにつつまれました。

タイ国民の誰からも、深く敬愛されてきた国王であったため、その時が来た際にはタイ国民の大半が 1 週間は仕事が手につかず、経済活動が止まるのではと懸念されていました。そのため、国王崩御の報道があった日の当日は、日系スーパーで米や水、トイレットペーパーなどを中心に生活必需品の買い占めがあったものの、翌日の 14 日は車や人通りがいつもより少ない程度で、特に混乱する様子はなく、多くの企業が平常通りに操業を行うなど影響は限定的であったようです。

民間企業では、国王への弔意を示す祭壇の設置や、黒色の服や弔意を示す服を着用する動きが広がっており、私が出向しているカシコン銀行では、写真のような国王の写真を建物の入口に設置しているほか、ATM の画面も国王の写真に変更となっています。



BTS ARI 駅周辺で撮影

地パンガン島で 17 日から開催予定だった恒例の「フルムーンパーティー」や、複数県で主要観光イベントの一つであるロイクラトン祭り（灯籠流し）が一部の県で中止となってしまったほか、エメラルド寺院や王宮への観光客の立ち入りが制限されるなど、タイ経済の牽引役である消費・観光業に不安要素がでてきています。



カシコン銀行 Phahon Yothin 本店前で撮影

経済への影響としては、プラユット首相から経済活動が滞ることがあってはならないとの発言があったものの、国王崩御を受けてタイ国内では自粛ムードが広がりつつあり、個人消費や観光業が減速するのではないかと懸念されています。消費では、現地の百貨店などの商業施設は通常通り営業しているものの、販売員が黒の服を着用し、店内音楽や派手なディスプレイ、販促イベントを控える動きがでてきています。

また、観光では南部スラタニ県のリゾート



Emporium（タイローカル百貨店）で撮影

政治の面では、プラユット首相のコメントとして、政府が引き続き民政復帰に向けたロードマップを履行し、来年末に総選挙を実施するとの考えを明らかにしましたが、総選挙の直前まで喪服期間となり、大々的なキャンペーンなど政治活動が制限されるため、選挙は現政権に有利に働くと見られています。

タイに駐在していて、生活面で大きな変化を感じることはあまりありませんが、やはり在位 70 年と長きに渡り国民から愛さ

れてきた国王であったことから、今後様々な分野に影響を及ぼす可能性があるため、王室並びに政府からのアナウンスには十分注意していく必要があると感じています。

なお、一般市民の間で広まっている黒服の着用は旅行者・出張者は不要とされていますが、この時期にふさわしくない言動を取った外国人とタイ人のトラブルも発生しているようですので、服喪期間中のタイ人を刺激することのない装い・立ち居振る舞いなどの配慮は必要かと思われま

< 労務 >

最低賃金 69 県で引上げされる

先月、タイ国内の経済状況などから最低賃金の引上げが見送られたことを紹介しましたが、10 月 19 日（水）に官労使の代表で構成される中央賃金委員会は、最低賃金を当面据え置きとされていた姿勢から一転して、全国 77 県中 69 県の 1 日あたりの最低賃金引き上げを決定したと発表しました（次ページ表参照）。

最低賃金の引上げは、2013 年 1 月にインラック元首相（タクシン元首相の妹）の元で行われて以来の引上げとなり、来年の 1 月 1 日以降、据え置きとなる 8 県を除き 69 の県で 5 バーツ～10 バーツ（約 15 円～30 円）の引上げがなされる予定です。

前回の最低賃金引き上げは、地域、業種、職種に関係なく全国一律で 300 バーツ（約 900 円）の最低賃金が適用されたため、雇用者側からは各地域の物価や雇用情勢の実情が反映されていないとの批判がありましたが、今回の賃金改定は、各都県の物価上昇や生活水準、近隣諸国との賃金等を比較、考慮して決定されているため、雇用者側の意見を一部取り入れた形となったと言えます。

労働者の生活苦を背景に最低賃金の引上げが実現しましたが、一般的な労働者の 1 日あたりの生活費は 360 バーツ（約 1,080 円）前後と言われているため、今後も労働者側は賃上げを要求して行くものと考えられます。

賃金改定となる都・県詳細

都・県名	引上げ金額 (最低賃金額)
1 都 7 県 バンコク、ナコンパトム、ノンタブリ、パトゥムタニ、プーケット、サムットプラカン、サムットサコン	10 バーツ (310 バーツ) (約 30 円 約 930 円)
13 県 コンケン、ナコンラチャシマ、プラチンブリ、チョンブリ、ラヨン、スラタニ、ソンクラ、チェンマイ、サラブリ、チャチュンサオ、クラビ、パンガ、アユタヤ	8 バーツ (308 バーツ) (約 24 円 約 924 円)
49 県 ウドンタニ、カンチャナブリー、サケオ、トラート 等	5 バーツ (305 バーツ) (約 15 円 約 915 円)
8 県 シンブリ、チュムボン、ナコンシタマラート、トラン、ラノン、ナラティワート、パタニ、ヤラー	据え置き (300 バーツ) (約 900 円)

タイ国内の展示会情報 (2016 年 11 月～2016 年 12 月)

B I T E C

名 称	期 間
COSMEX 2016 (化粧品全般)	11 月 8 日～11 月 10 日
The Grand METALEX 2016 (金属加工機械)	11 月 23 日～11 月 26 日
Photo Fair 2016 (カメラなど写真関連機器)	11 月 30 日～12 月 4 日
Plastics Processing Exhibition 2016 (プラスチック製品)	12 月 15 日～12 月 16 日

I M P A C T

名 称	期 間
ASEAN (Bangkok) China Important & Export Commodities Fair 2016 (日曜雑貨)	11 月 4 日～11 月 6 日
Sign Asia Expo 2106 & Bangkok LED & Digital Sign 2016 (広告関連機材: 大型プリンター、ラミネーター等)	11 月 10 日～11 月 13 日
Homepro Expo #24 (家具)	11 月 18 日～11 月 27 日
Sports World Expo (スポーツ用品)	11 月 18 日～11 月 27 日
THAILAND Friendly Design (介護関連商品・サービス)	11 月 30 日～12 月 3 日
The 33 rd Thailand International Motor Expo 2016 (自動車)	11 月 30 日～12 月 12 日